

「ゴンドラ洋楽会」再現演奏会

高花台二丁目生涯学習奨励員

馬場 康夫

「ゴンドラ洋楽会」は萩原朔太郎が大正4年に立ち上げたマンドリンの合奏団です。地方では横浜に次いで全国で2番目だったそうです。

この洋楽会の「試演会」というコンサートのプログラムと譜面が前橋文学館に残されています。同館の企画展「萩原朔太郎の音楽」でこれを再現した演奏会が行われましたが、そこには詩から感じる響きとは違った、思いがけない朔太郎の「音の世界」がありました。

朔太郎自身が構成・演出した試演会です。どんな曲を選び、どんな編曲や編成で演奏したのかで音楽の好みやレベルが分かります。音楽の知識や基礎はハイレベルであったようです。行進曲と舞曲が好きだったようで、演奏曲は西洋を感じさせる明るい長調の曲が多く、日本人好みの短調の曲は箸休め程度でした。

朔太郎の音楽は軽妙でオシャレであり、文学に見られる不安や憂鬱（ゆううつ）などが感じられません。若かりし頃は几帳面で明るく新しがり屋の好青年だったのではないのでしょうか。

なお、今年の「朔太郎音楽祭」は10月18日、昌賢学園まえばしホールで開催予定ですが、規模を縮小して行われます。スペイン風邪を経験した朔太郎です、許してくれることでしょうか。

ステイホーム

勝沢町生涯学習奨励員

中山 洋子

2020年―我々の想像も及ばないようなコロナ禍が始まった。家にステイする。家に留まってくださいと言われると時間を持て余し、「さて何をしようか」と。そこでガーデンングと断捨離を思い立ち敢行した。

狭いながらも庭の真ん中にシヤラの木がある。その木にスズメやモズが羽を休めにやってくる。よく見るとモズは庭にあるブルーベリーの実をついばんでいる。スズメはというと、ピーナッツを庭にまくとやってきて美味しそうについばんでいる。そこで夫が自慢げにシヤラの木に餌場を吊るし、ヒエヤキビを置いてあげる。すると2〜3羽のスズメたちが餌をついばみ始めた。庭にも3ヶ所餌場を作ってあげる。そのうちに警戒しながらもたくさんスズメたちがやってくるようになった。そこでスズメたちを観察することになり、にわか鳥勉強が始まった。

初めて知った親子の餌のやり取りのなんと微笑ましいことか。そんな親子にチュン太郎やすず子など名前をつけ楽しんでる。今では、スズメも朝・夕決まった時間に餌をせがみにくるようになった。

みなさんもいろいろな時間の過ごし方をなされたのでは？ピンチはチャンス！前向きな人生を楽しみたいものである



前橋市立図書館芳賀分館だより

あたらしく入った本の紹介

一般書

著者名

一人称単数	村上 春樹
首里の馬	高山 羽根子
スキマワラシ	恩田 陸
お父さんはユーチューバー	浜口 倫太郎
Sが泣いた日	伊兼 源太郎
俺の残機を投下します	山田 悠介

児童書・絵本

水族館のサバイバル1
わけあって絶滅しました。もくとと
5分で読書
やばいことわざ

イラストでわかる都道府県じてん「2020」
みえた！うみべのいきもののひみつ

くほかにもたくさん新刊が入りました！

★木曜休館（土日祝日は10時〜17時開館）
※ご来館の際はマスク着用をお願いします。

★イベント情報
自殺予防のブックキャンペーン（前橋市保健
予防課）

日時 9月11日（金）〜9月30日（水）

内容 命について考える本や心が軽くなる
本を集めた特設コーナーを芳賀分館
内に設置いたします。